

令和7年度 岡津地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

戸建て住宅が多い地区。人口は横ばいで推移していますが、地区によっては高齢人口比率が50%を超え、85歳以上の比率も8%以上と高齢化率が著しく進行した地域を含んでいます。公共施設、公園、スーパー、コンビニ、病院等、生活に便利な住環境が整っている半面、バス停300m圏外の地域では、高齢者の外出支援、買い物支援及び見守り等の地域支援が求められます。集合住宅で構成される自治体は、高齢人口比率も比較的高いことから、10年後には一気に高齢化が進ため、今から地域力を高めておくことが、望まれます。一つの連合町内会を担当しているケアプラザとして、各種団体の会合や催事に積極的に参加し、活動の支援を行っていきます。区役所や、区社会福祉協議会と連携し、地域の課題を地域住民とともに考えます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	子育て支援や学齢期の子どもを対象とした事業を引き続き実施し、居場所支援や交流の場の提供を行う。子育て支援、子ども支援については、中川地区子育て応援キャラバン隊とも連携して事業を実施する。
☐	☒	障害の事業として、避難所ヘルプカードを岡津小学校地域防災拠点と領家中学校地域防災拠点でも取り組みが推進するよう支援する。障害者への理解として「障害理解講座」の開催の支援を区行政と連携して行う。
☒	☐	養護者の介護負担軽減のため「つどい☺Café」を定期的開催し、養護者の支援をしていく。
☐	☒	本人、家族、事業者との良好な関係づくりに努め、適切なアセスメントを行い、個別性、意欲を引き出すケアプランの作成を行う。地域住民と医療・介護の専門職等で地域課題について意見交換し、顔の見える機会を提供する。
☐	☒	地域活動に参加して得た情報をマップ一覧にして提供する。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

子育て支援と子ども支援は、子育て応援キャラバン隊や中川地区社会福祉協議会と連携して、事業を開催しました。新たな取り組みとして、夏休みこども食堂を中川地区社会福祉協議会と共催で開催し、長期休暇中の子どもの食の支援と居場所支援を行いました。「つどい☺Café」と「オカーバックスカフェ」を定期的開催しました。認知症カフェの運営と演芸をボランティアにお願いし継続して開催、当事者のボランティアもあり、認知症の方の居場所づくりを行いました。マルエツの移動スーパーが担当する地域の公園等で3か所で開催されました。ケアプラザ通信で開催場所や時間を周知し、買い物、見守り、地域のコミュニティの形成が地域に根づくよう努めました。「一人暮らし」「認知症」「身寄りが近くにいない」ケースをケアマネジャーと民生委員、行政機関、医療機関等多職種間で「認知症になっても地域で暮らしていくためにはどうしたらいいかなど意見交換しました。

☐ 区からのコメント

・高齢者の外出、移動手段等の地域課題から、買い物支援として移動スーパーを立ちあげるなど、高齢者の生活支援の充実に向けた取組を創出いただきました。今後も、高齢者の生活支援の充実に向けて、地域課題の分析や様々な取組み推進を期待しています。
 ・各種会議や地域サロン、イベント等への参加を通じて継続的な情報発信と地域周知に取り組んでいただきました。認知症サポーター養成講座やつどいCafé、出前講座など多様な場を活用し、権利擁護や認知症に関する普及啓発の推進にも貢献されています。今後も地域特性や住民の状況に応じた周知・相談支援・通いの場づくりの展開を期待します。
 ・こどもの健全育成のためには、地域のゆるやかなつながりが非常に重要となります。地域ケアプラザと担い手や相談者個人が顔の見える関係が広がっており、大変安心した場所となっていますので、引き続き、事業の実施を期待しています。